

21th ミュージックフェスティバル2019 広瀬のひびき

Swing & Harmony

レポート

- ★ 開催日 平成31年1月27日（日）
- ★ 時間 12時30分から16時まで
- ★ 会場 広瀬文化センター ホール
- ★ 来場者 延べ1,500人

21回目の新たな出発

“文化的広がり”や“人と人とのつながり”を創り出し、この地域における芸術・文化の向上と交流を図ることを目指して始まった音楽イベント「ミュージックフェスティバル 広瀬のひびき」。

まもなく終わろうとする平成の時代とともに始まり、多くの地域の音楽グループとともに、地域の音楽文化の広がりにも寄与してきました。「運営に参加した。」そして、「ステージに出演した。」こうした経験をもとに、どれだけ多くの方の感動と涙が生まれ、そして思い出を築いて来たのでしょうか。

音楽に携わる地域の皆さんの手づくり運営で、アットホームな音楽祭として開催を重ねてきた“ひびき”ですが、一昨年1月には20回目を迎え、今年は、広瀬文化センターホールのリニューアルを経て二年ぶりの開催、新たな船出を果たしました。



学校法人 愛子学園 大沢幼稚園

❄ Best Friend ❄ なみだのにじ

第一部、合唱編の始まりです！オープニングを飾るのは大沢幼稚園の年長さん、うさぎ組とりす組56名の皆さんです。ホールに元気で可愛らしい歌声が響きます。友達とのつながりを大切に過ごしてきた皆さん。友達と一緒に、どんな困難も乗り越えていけると言う経験をたくさんしたことを思い出しながら、1曲目の「Best Friend」を歌いました。そして、2曲目の「なみだのにじ」は、幼稚園を卒園する「お別れ」と小学校へ行く「期待」の気持ちを胸に心を込めて歌いました。



友達とたくさん練習した成果を披露してくれました。



仙台市立錦ヶ丘小学校 4年生

❄️ ダイナミック琉球



歌に加えてダンス、太鼓も入って、新鮮な“ひびき”になりました！

開校四年目を迎える錦ヶ丘小学校4年生の皆さんが披露したのは「ダイナミック琉球」。歌・ダンスや太鼓と見どころ・聴きどころが満載の曲です。ピアノから始まり、歌と軽快なダンス、そして太鼓も加わった迫力のある琉球サウンドに会場はどんどん盛り上がっていきます。

この曲は演じる子ども達にも大人気で、みんな夢中になって練習したとのこと。そんな楽しさが伝わったのか、観客席では、幼稚園の子ども達がお兄さん・お姉さんの振り付けにあわせて楽しそうに踊っていました。



仙台市立広瀬中学校 合唱部

❄️ 若者たち ❄️ 春風 ❄️ 陽のあたる道

さて、次にたくさんの拍手とともに登場したのは12回目の出場、中学生の合唱としては「広瀬のひびき」最多出場を誇る広瀬中学校合唱部の皆さんです。木村直美先生の伴奏により「若者たち」の合唱から始まり、聖歌隊のような透明な美しい声で「春風」、「陽のあたる道」を歌い、心を一つにした澄んだハーモニーが会場に響きわたりました。



聖歌隊のように美しく澄んだハーモニー。会場の誰もが心を奪われている様子でした。



仙台高等専門学校広瀬キャンパス 合唱班

❄️ 「水のいのち」より「雨」 ❄️ 群青 ❄️ ロマンズ第2番へ長調



続いては、仙台高等専門学校広瀬キャンパス合唱班の皆さんです。小編成ながら美しいハーモニーを聴かせてくれる合唱班の皆さん。今回は、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県南相馬市の中学生が、離ればなれになった同級生を想った歌詞が反響を呼んでいる「群青」と、『水のいのち』より「雨」の二曲を聴かせていただきました。本ステージでは、コーラスに続いて、バイオリンの独奏を交えた興味深いプログラムとなりました。



質が高く才能溢れる演奏が新鮮でした。



ひろせ合唱の会

❄️ 栗駒山 ❄️ どんと祭り ❄️ BELIEVE

合唱編の最後を務めるのはひろせ合唱の会の皆さんです。地域の14の合唱団体がともに活動する団体で、今年からは、さらに少年少女合唱団ドリームの皆さんが加わり、子どもからお年寄りまで楽しめる曲を歌っていただきました。ステージでは、「栗駒山」から始まり、「どんと祭り」、「BELIEVE」と、なんだか楽しくなってくるような、終始、陽気な演目が続きました。20年以上にわたって活動を重ね、磨き抜かれた混声合唱に多くの方が感動していました。



伴奏者急病により、代役を引き受けてくれた吉田明香里さん。ピンチヒッターとは思えない素晴らしい一体感です。



可愛らしい新たなメンバーを迎え、その歌声にも一層磨きがかかります。



全体合唱

カッパダ川・ありがとうの花

地域を流れる小川を題材として、作詞・作曲とも地元の方から募集してつくられた「カッパダ川」。地域に根付く歌として合唱編の締めくくりに歌い続けています。また、カッパダ川に加え、子どもたちにも親しんでもらえる歌として「ありがとうの花」の2曲を、合唱編の出演者と会場の皆さんで歌いました。残念ながら参加予定だった愛子小学校4年生の皆さんはインフルエンザの流行で出演できませんでしたが、大沢幼稚園の皆さんが全体合唱に参加してくれました。ステージも客席も一体となってホールに響き渡る皆さんの歌声は、元気で美しく、合唱編の最後を大いに盛り上げました。

司会 宮城県宮城広瀬高等学校 放送部

“ひびき”の司会と言えば、宮城広瀬高等学校放送部の皆さん。明るい声と笑顔、そして、絶妙なコンビネーションで、合唱編・合奏編ともに「広瀬のひびき」全体を盛り上げ、スムーズな進行をしていただきました。メンバーのなかには、中学生の時に合唱部で「広瀬のひびき」に出演したという方もいらっしゃるとのこと。一層愛着と親しみをもって、進行を務めていただけたのではないのでしょうか。



明るい声と笑顔で出演者を紹介。
幼稚園の皆さんの可愛い合唱にはほっこりしました。



息の合ったトークによる安心感。
吹奏楽編フィナーレではステージ袖から声援を送っていました。

仙台市立広陵中学校 ギター部

❄ アンダー・ザ・シー ❄ 美女と野獣 ❄ 君はともだち ❄ 海に見える街

合奏編のオープニングを飾るのは広陵中学校ギター部の皆さん。県内随一の中学生クラシックギター部として、文化祭や地域行事での演奏など活動の幅を広げながら、全国ギター合奏コンクールでは2年連続銅賞を獲得するなどめざましい活躍をしています。9名の部員に、日頃指導される小川和明校長先生も仲間に加わって、アニメーション映画の曲ほか4曲を演奏しました。息の合ったつま弾きに応じて、ガット弦の柔らかな音色が観客を優しく包む温かなステージでした。



息の合った演奏に呼応するように、ガット弦の柔らかな響きが会場の観客を優しく包み込みます。



仙台高等専門学校広瀬キャンパス 吹奏楽部

❄️ ブルースカイ ❄️ 珍獣ハンターイモトのテーマ ❄️ SING , SING , SING



上袖スクリーンに映し出された幕間の練習風景の映像が終わり、指揮者の鈴木哲先生の登場とともに「ブルースカイ」の演奏が勢い良く始まりました。文字通り晴れやかな青空がのぞくように、仙台高等専門学校広瀬キャンパス吹奏楽部の登場です。続く曲「珍獣ハンターイモトのテーマ」はユーフォニアムの静かなソロで始まり、最後はジャズの定番「SING,SING,SING」で手に汗握るステージ展開となりました。今年もバラエティに富んだプログラムに観客の皆さんも大いに魅了されたのではないのでしょうか。



正統派かつ抑揚のある演奏に魅了された観客からたくさんの拍手が送られていました。

仙台市立折立中学校 吹奏楽部

❄️ ミッキーマウスマーチ ❄️ イン・ザ・ムード ❄️ 米津玄師メドレー

「O=大きな声ではい、R=臨機応変に行動、I=いつも近くに音楽を」から始まる「ORITATE MUSIC」と言う12の約束を設け、1人1人が主役となれるよう、日々の活動に取り組む折立中学校吹奏楽部。それぞれの楽器の音を楽しめればと、パーカッションを皮切りに、フルート・トランペット・チューバ・クラリネット・ユーフォニアム・サクソ・トロンボーンなどの順番で楽器紹介のための「ミッキーマウスマーチ」の演奏が始まりました。続いて邦画にも登場し吹奏楽ではお馴染みの「イン・ザ・ムード」。最後は、昨年大ヒットした「Lemon」を含む米津玄師さんのメドレーを披露し、徐々にテンポが盛り上がっていくステージに、観客席は惜しみない拍手を送っていました。



「ORITATE MUSIC」の精神を忘れずに、気持ちを一つにして質の高い演奏を目指します。

仙台市立大沢中学校 吹奏楽部

❄️ RPG ❄️ スプリングフィールド ❄️ キセキ

28名の部員からなる大沢中学校吹奏楽部。一人一人の個性を活かしながら毎日賑やかに、そして、楽しく部活動に励んでいます。今回のステージでは、「RPG」などのJポップの曲をはじめ、様々なジャンルの曲を演奏しました。優雅で春風を感じるような「スプリングフィールド」、明るく前向きな歌詞をイメージして練習したと言う「キセキ」など、腕を上げた大沢中学校吹奏楽部が奏でるサウンドに、観客席の皆さんもそれぞれの曲の世界観を味わいながらお楽しみいただけたのではないのでしょうか。



「うまくなったね！」と長年見てきた照明スタッフが舌を巻いていました！

仙台市立広瀬中学校 吹奏楽部

❄️ そりすべり

❄️ J-BEST～定番！冬うたメドレー～

❄️ 銀河鉄道999



毎年3月に広瀬文化センターホールで開催する「スプリングコンサート」をはじめ、マーチングコンテスト全国大会に出場するなど、今年も大活躍の広瀬中学校吹奏楽部。小学生の頃に「広瀬のひびき」での演奏を聴いて吹奏楽部に入部した部員もいるなど、二年ぶりの“ひびき”のステージに張り切っています。今年のステージのテーマは“冬うた”。雪景色を思わせこの季節にピッタリの「そりすべり」の演奏の後、「定番の冬うたメドレー」で観客に寒い季節の楽しさを思い出させてくれました。途中、演奏曲の紹介では幾分緊張した雰囲気でしたが、再び演奏が始まりラストは、アップテンポでノリの良い「銀河鉄道999」の演奏で会場を沸かせました。



迫力のある演奏は定評のあるところですよ！

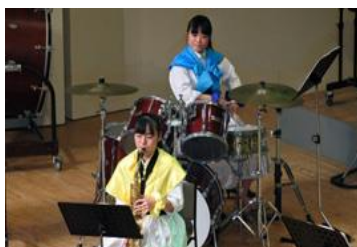
宮城県宮城広瀬高等学校 吹奏楽部

❄️ Courageous Knights

❄️ 広瀬オリジナルメドレー



合奏編の最後を飾るのは宮城広瀬高等学校吹奏楽部。テーマ曲「Courageous Knights」で幕を開けたステージは、ハイレベルな演奏に全ての観客が引き込まれました。続いてアンケートでも毎年「楽しみにしている」という声が大変多い「広瀬オリジナルメドレー」へと続きます。今年は、終わりゆく平成を惜しみつつ、昭和を振り返る選曲でYMCAやキャンディーズなど、当時の振り付けを盛り込んだステージ構成に会場は大いに盛り上がりました。



15:58
15:58



フィナーレ

エル・クンバンチェロ

フィナーレでは、すべての出演者で感動のメロディを響かせます。曲はプエルトリコの作曲家ラファエル・フェルナンデスの書いたサンバの代表曲「エル・クンバンチェロ」です。手に汗握るような激しい曲調は、通りを踊り歩くお祭りの風景を表現しています。約160人で構成される圧巻の楽団が創り出すサウンドの感動は、出演者が、観客が、そして会場が一体となってホール全体が一つの“お祭り広場”と化した最後に相応しい賑わいとなりました。



サプライズのビッグバルーンに会場もビックリ！ 演奏もさらに盛り上がりました！





音楽を通じて、子どもから大人まで、地域みんなが心ひとつになれるのが“ひびき”の良さ。

広瀬のひびき ボランティアスタッフ

広瀬のひびきは、ボランティアスタッフの皆さんの協力無しには運営できません。司会や受付、そして舞台運営など、縁の下の力持ちとして、今年も様々な協力をいただき誠にありがとうございました。なお、レポートで使用している写真については、撮影ボランティア阿部啓二さんの撮影によるものです。



舞台の準備や転換、片づけを行ってくれた宮城広瀬高等学校吹奏楽部の皆さん。吹奏楽編では、素早い転換が重要です。自らの出演も含め手際よくステージをさばきます。

ご来場いただいたお客様へ

述べ1,500人のお客様にご来場いただきました。寒い季節、広瀬のひびきをご覧にいらしていただき、また、出演者へのたくさんの拍手や温かい励ましのお言葉をありがとうございました。



あたたかい声援とたくさんの拍手をありがとうございました！